

新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

担当課：中国地方整備局地域道路課  
担当課長名：内海 一幸

事業の概要

|  |                                 |      |     |      |        |
|--|---------------------------------|------|-----|------|--------|
| 事業名  | 一般県道 南浦金光線                      | 事業区分 | 地方道 | 事業主体 | 岡山県    |
| 起終点  | 自：岡山県浅口市金光町大谷西<br>至：岡山県浅口市金光町佐方 |      |     | 延長   | 1.7 km |
| <p><b>事業概要</b></p> <p>一般県道南浦金光線は、一般県道玉島黒崎金光線と一般県道東安倉鴨方線を東西に結ぶ約2.5kmの道路であり、玉島笠岡道路の金光IC(仮称)アクセス道路として、又、救急医療等の地域格差の是正及び玉島笠岡道路供用時における本線と一体となった渋滞対策を目的として整備するものである。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉島笠岡道路の金光IC(仮称)と直結し、周辺施設等から広域交通等の集約と、高規格な道路へのアクセス向上を図る。</li> <li>玉島笠岡道路との一体整備で国道2号から玉島笠岡道路への大幅な交通転換を促進し、渋滞対策を図る。</li> <li>急速に高齢化が進展する旧寄島町において、救急医療施設への搬送時間短縮など、地域格差の是正を図る。</li> </ul> <p>全体事業費 21億円 計画交通量 6,000台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p> |                                 |      |     |      |        |

**関係する地方公共団体等の意見**

広域・地域間交流を担う道路として「浅口市総合計画」（平成19年3月）に位置づけられており、浅口市長から早期整備の要望を毎年受けている。

また、平成18年3月に合併した新浅口市に対する合併支援事業であり、一体性の確保のため各地域間の交流・連携に寄与する本事業に対する期待は大きい。

**事業採択の前提条件**

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 円滑な事業執行の環境：都市計画決定済み。（都決日：H12.8.29）

事業評価結果

|        |             |  |  |  |              |
|--------|-------------|--|--|--|--------------|
| 費用対便益  | B/C         | 1.4  | 総費用：19億円<br>（事業費：18億円<br>維持管理費：0.50億円） | 総便益：27億円<br>（走行時間短縮便益：19億円<br>走行経費減少便益：5.7億円<br>交通事故減少便益：2.1億円）  | 基準年<br>平成20年 |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動  | B/C=1.3 (交通量-10%)                      | B/C=1.5 (交通量+10%)  |              |
|        |             | 事業費変動  | B/C=1.6 (事業費-10%)                      | B/C=1.3 (事業費+10%)  |              |
|        | 事業期間変動      | B/C=1.5 (事業期間-20%)   | B/C=1.3 (事業期間+20%)                     |  |              |
| 事業の影響  | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目   | 評価                                     | 根拠   |              |
|        |             | 渋滞対策   |  | 市街地部の通過交通を転換させることにより、渋滞の緩和が見込まれる。<br>玉島笠岡道路と一体的な渋滞対策を図る。<br>佐方交差点 244千人時間/年km 115千人時間/年km<br>(岡山県平均渋滞損失時間15.5千人時間/年km) |              |
|        |             | 事故対策   |  | 市街地部の交通集中に起因する交通事故の減少が見込まれる。<br>佐方交差点死傷事故率336.0件/億台キロ<br>(岡山県平均死傷事故率124.4件/億台キロの約3.3倍)                                 |              |
|        | 社会全体への影響    | 歩行空間   | -                                      | 注目すべき影響はない。  |              |
|        |             | 住民生活   |  | 旧寄島町から救急告示病院(金光病院)への時間短縮<br>(所要時間22分 16分(6分短縮))  |              |
|        |             | 地域経済   |  | 計画中の浅口市工業団地から山陽自動車道鴨方ICへのアクセス向上<br>(所要時間12分 9分(3分短縮))  |              |
|        |             | 災害   | -                                      | 注目すべき影響はない。  |              |
| 環境     |             | 交通の分散による走行速度の向上により、大気汚染物質の削減が図られる。<br>・ Co2 : 250(t-CO2/年)削減<br>・ Nox : 0.6(t-NOx/年)削減<br>・ SPM : 0.1(t-SPM/年)削減 |  |  |              |
| 地域社会   |             | 平成18年3月に合併した新浅口市の各地域間の交流・連携の推進に寄与する。   |  |  |              |
| 事業実施環境 |             | 平成12年8月に都市計画決定済みであり、これまでに地元説明会等を実施し、事業に対する地元理解や浅口市の協力等、円滑な事業実施環境が整っている。  |  |  |              |

採択の理由

事業主体である岡山県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、現況渋滞損失時間や現況死傷事故率等の低減、平成18年3月に合併した新市(浅口市)の交流・連携を推進に寄与するなど、当該事業の整備の必要性・社会全体への効果は高いと判断できる。

以上より本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。